

事例・教材 三匹の子ぶた劇～参加型劇でお口周りの筋肉を鍛えよう

狙い・ターゲット： 発音不明瞭なお子さん、口輪筋を鍛える、口唇突出を促す

写真：



目的	いつものお口周りの体操を、劇を用いて遊びながら楽しくやってみよう
使用教材	<ul style="list-style-type: none">・こぶた3匹とお母さん、オオカミの人形・わら、木の家（ラミネート加工し、後ろを閉じない。ストローで吹いたとき倒れやすくする為）・れんがの家（ラミネート加工し、後ろを輪っかのようにして閉じる。ストローで吹いても倒れないようにする為）・ストロー数本（子ども用、大人の見本用）
内容、方法	<ol style="list-style-type: none">1) 3匹の子ぶた劇をお話しの順に従って進める。 その時ブロックなどを用意してれんがの家を建てるシーンで時間をかけて積み重ねていたり、お兄さんブタが「未だ出来ないの？」と質問したりして、弟ブタが「まだまだ出来ないよ」などと会話をに入れるのも良い。2) オオカミが出てきたところで、子供に「じゃあオオカミが家を『フフフノフーッ』で吹き飛ばすのを手伝ってくれる？」と言ってストローを渡す。ラミネート加工したわらと木の家の上方を吹くと倒しやすいことなどもアドバイスしながら、ストローを傾ける位置や呼気の調節などコントロールできているかを見ておく。3) 最後は「時間をかけてでも丁寧に作ると良い物が完成するんだね」というブタ3兄弟の会話などで終了する。
方法（補足）	もし、ストローでラミネート加工された家二軒を吹き飛ばせなかった場合には、同じストローを用いてテッシュペーパーサッカーを実施。方法は、ラミネート加工した先ほどの家を裏にしてサッカーゴールに見立て、そこにテッシュペーパーボールをシュートする遊びを実施。テッシュペーパーは二枚重ねを一枚にして軽いモノから始め、ストローで吹いて転がすという視覚的にも分かりやすい方法で呼気のコントロールや口唇がしっかり閉じることが出来ているか、つばや息がストローの端から漏れていないか、などを確認する。